

リユースEVの有用性を確認するための検証について 〈実施報告書〉

入間市役所環境経済部エコ・クリーン政策課

検証の目的及び概要

【目的】

市におけるEVの活用を通じたサーキュラーエコノミーの推進を目指し、EVの地域内循環を図るため、市が導入したリユースEVの有用性を確認することを目的に当該検証を実施する。

【概要】

リユースEVに搭載されたバッテリーの耐用性を把握するため、総合クリーンセンターに導入したリユースEVと市役所本庁舎に導入したシェアリングEVで同一の条件で並走、総合クリーンセンターと当市職員が公用において県西部地域外で最も多く赴くと思われる埼玉県庁間を2往復し、消費電力量を比較する。

実施日程	令和8年2月2日(月) 午前9時30分～午後5時30分
使用車両	①リユースEV 総合クリーンセンターで使用している車両 ②シェアリングEV 市役所本庁舎に配置し、平日日中に公用車として利用し、土日祝日は市民等が利用できる車両 ※使用車両の詳細は別表 使用車両概要一覧表のとおり
目的地	埼玉県庁(所在地:埼玉県さいたま市浦和区高砂三丁目15番1号)
道程	【1往復目往路】 総合クリーンセンター～《国道16号》～《県道8号》～《国道463号》～《国道254号》～《県道266号》～《県道40号》～埼玉県庁 【1往復目復路～2往復目復路(1往復目復路以降)】 総合クリーンセンター～《国道16号》～《県道8号》～《県道126号》～《国道463号》～《国道254号》～《県道266号》～《県道40号》～埼玉県庁

検証の目的及び概要

【別表 使用車両概要一覧表】

リユースEV	—	シェアリングEV
日産リーフ	車種名	日産リーフ
ZAA-ZE1	型式	ZAA-ZE1
令和元年	初度登録	令和4年
53,937km	通算走行距離 (R8.2.2時点)	20,505km
86.21%	SOH値 (R8.1.28時点)	97.14%
	車両画像	

SOH値とは・・・
State of Healthの略でバッテリー(電池)の健全性・劣化状態を示す指標。
(新車時のSOH値は100%)

検証の様子

【1往復目】



▲午前9時35分 総合クリーンセンター出発
(検証開始)

【2往復目】



▲午後1時18分 総合クリーンセンター出発



▲午後5時32分 総合クリーンセンター到着
(検証終了)







▲午前11時18分 県庁到着



▲午後3時34分 県庁到着

検証結果【メーター表示による電力残量の比較】

リユースEV	—	シェアリングEV
 <p>100%</p>	検証開始時	 <p>99%</p>
 <p>40%</p>		 <p>44%</p>

検証結果及び今後の展望

【走行距離及び消費電力量比較表】

リユースEV	比較項目	シェアリングEV
138km	走行距離	137km
60%	バッテリー消費率	55%

【補足】

○リユースEV

総合クリーンセンター(残電力100%)⇒県庁(残電力86%)
⇒総合クリーンセンター(残電力70%)⇒県庁(残電力58%)
⇒総合クリーンセンター(残電力40%)…消費電力量60%

○シェアリングEV

総合クリーンセンター(残電力99%)⇒県庁(残電力86%)
⇒総合クリーンセンター(残電力71%)⇒県庁(残電力61%)
⇒総合クリーンセンター(残電力44%)…消費電力量55%

【まとめ】

今回の検証において、走行によるバッテリー消費率の差分は、おおよそ10%であった。この数値は、走行前にあらかじめ計測していたSOH値の差分とほぼ一致している。この結果から、SOH値を指標とすることで、リユースEV導入時の性能を定量的に評価・予測することが実証された。

【今後の展望】

公用のみならず市民や民間事業者による比較的長距離の移動におけるリユースEVの活用可能性を確認するため、高速道路を利用した県外への長距離の走行によるバッテリーの耐用性等について検証していく予定である。